

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年9月27日 (2018.9.27)

【公表番号】特表2014-513717(P2014-513717A)

【公表日】平成26年6月5日 (2014.6.5)

【年通号数】公開・登録公報2014-029

【出願番号】特願2014-510930(P2014-510930)

【国際特許分類】

A 6 1 K 47/50 (2017.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/704 (2006.01)

A 6 1 K 47/42 (2017.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 47/16 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 47/48

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 31/704

A 6 1 K 47/42

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 43/00 1 2 3

A 6 1 K 47/16

A 6 1 K 39/395 C

A 6 1 K 39/395 L

【誤訳訂正書】

【提出日】平成30年8月10日 (2018.8.10)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

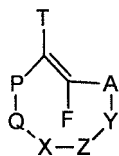
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

プロドラッグ化合物とアクチベータ化合物とを含むプロドラッグキットであって、  
前記プロドラッグ化合物は、トリガー部分 T<sup>R</sup> に結合された薬物 D<sup>D</sup> を含み、  
前記トリガー部分は、ジエノフィルを含み、  
前記アクチベータ化合物は、前記ジエノフィルと反応可能であるジエンを含み、  
前記ジエノフィルは、下記式 (1 a) を含み：

【化 70】



(1a)

(式(1a)中、T、Fは、各々独立して、H又はアルキル、F、Cl、Br又はIから構成される群から選択される置換基を意味し；記号A、P、Q、X、Y及びZの意味は、下記(1)～(6)から構成される群から選択され、

(1) 結合PQ、QP、QX、XQ、XZ、ZX、ZY、YZ、YA、AYの1つは、 $-CR^aX^D$ 、 $-CR^aY^D$ から構成され、それ以外のA、Y、Z、X、Q、Pによって構成される基は、 $CR^a_2$ であり、O-O、O-S及びS-Sから構成される群から選択された隣接原子ペアは存在せず； $X^D$ はO-C(O)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)、S-C(O)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)、O-C(S)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)、S-C(S)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)、NR<sup>C</sup>-C(O)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)、NR<sup>C</sup>-C(S)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)であり；かつY<sup>D</sup>はNHR<sup>C</sup>、OH、SHであり；又は $X^D$ はC(O)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)、C(S)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)であり；かつY<sup>D</sup>はCR<sup>C</sup><sub>2</sub>NHR<sup>C</sup>、CR<sup>C</sup><sub>2</sub>OH、CR<sup>C</sup><sub>2</sub>SH、NH-NH<sub>2</sub>、O-NH<sub>2</sub>又はNH-OHである；

(2) Aは $CR^aX^D$ でありかつZは $CR^aY^D$ である、又はZは $CR^aX^D$ でありかつAは $CR^aY^D$ である、又は、Pは $CR^aX^D$ でありかつXは $CR^aY^D$ である、又はXは $CR^aX^D$ でありかつPは $CR^aY^D$ であり、 $X^D$ 及びY<sup>D</sup>は互いに関連してトランス型に配置され；それ以外のA、Y、Z、X、Q、及びPによって構成される基は、 $CR^a_2$ であり、O-O、O-S及びS-Sから構成される群から選択された隣接原子ペアは存在せず； $X^D$ は、O-C(O)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)、S-C(O)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)、O-C(S)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)、S-C(S)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)、NR<sup>C</sup>-C(O)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)、NR<sup>C</sup>-C(S)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)であり、かつY<sup>D</sup>はNHR<sup>C</sup>、OH、SH、CR<sup>C</sup><sub>2</sub>NHR<sup>C</sup>、CR<sup>C</sup><sub>2</sub>OH、CR<sup>C</sup><sub>2</sub>SH、NH-NH<sub>2</sub>、O-NH<sub>2</sub>又はNH-OHである；又は $X^D$ はCR<sup>C</sup><sub>2</sub>-O-C(O)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)、CR<sup>C</sup><sub>2</sub>-S-C(O)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)、CR<sup>C</sup><sub>2</sub>-O-C(S)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)、CR<sup>C</sup><sub>2</sub>-S-C(S)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)、CR<sup>C</sup><sub>2</sub>-NR<sup>C</sup>-C(O)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)、CR<sup>C</sup><sub>2</sub>-NR<sup>C</sup>-C(S)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)であり、かつY<sup>D</sup>はNHR<sup>C</sup>、OH、SHである；又は $X^D$ はC(O)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)、C(S)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)であり；かつY<sup>D</sup>はCR<sup>C</sup><sub>2</sub>NHR<sup>C</sup>、CR<sup>C</sup><sub>2</sub>OH、CR<sup>C</sup><sub>2</sub>SH、NH-NH<sub>2</sub>、O-NH<sub>2</sub>、NH-OHである；

(3) Aは $CR^aY^D$ であり、かつ、P、Q、X、Zの1つは $CR^aX^D$ であり、又は、Pは $CR^aY^D$ であり、かつ、A、Y、Z、Xの1つは $CR^aX^D$ である、又はYは $CR^aY^D$ であり、かつX又はPは $CR^aX^D$ である、又は、Qは $CR^aY^D$ であり、かつ、Z又はAは $CR^aX^D$ である、又は、Z又はXのいずれかは $CR^aY^D$ であり、かつ、A又はPは $CR^aX^D$ であり、 $X^D$ 及びY<sup>D</sup>は互いに関連してトランス型に配置され；それ以外のA、Y、Z、X、Q及びPによって構成される基は、 $CR^a_2$ であり、O-O、O-S及びS-Sを構成する群から選択された隣接原子ペアは存在せず； $X^D$ は(O-C(O))<sub>p</sub>-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)、S-C(O)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)、O-C(S)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)、S-C(S)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)であり、Y<sup>D</sup>はCR<sup>C</sup><sub>2</sub>NHR<sup>C</sup>、CR<sup>C</sup><sub>2</sub>OH、CR<sup>C</sup><sub>2</sub>SH、NH-NH<sub>2</sub>、O-NH<sub>2</sub>、NH-OHであり；pは0又は1である；

(4) Pは $CR^a Y^D$ であり、かつ、Yは $CR^a X^D$ である、又はAは $CR^a Y^D$ であり、かつ、Qは $CR^a X^D$ である、又はQは $CR^a Y^D$ であり、かつ、Aは $CR^a X^D$ である、又はYは $CR^a Y^D$ であり、かつPは $CR^a X^D$ であり、 $X^D$ 及び $Y^D$ は、互いに関連してトランス型に配置され；それ以外のA、Y、Z、X、Q及びPから構成される基は、 $CR^a_2$ であり、O - O、O - S及びS - Sから構成される群から選択された隣接原子ペアは存在せず； $X^D$ は $(O - C(O))_p - (L^D)_n - (D^D)$ 、 $S - C(O) - (L^D)_n - (D^D)$ 、 $O - C(S) - (L^D)_n - (D^D)$ 、 $S - C(S) - (L^D)_n - (D^D)$ であり； $Y^D$ は $NHR^c$ 、 $OH$ 、 $SH$ であり；pは0又は1である；

(5) Yは $Y^D$ であり、かつ、Pは $CR^a X^D$ である、又はQは $Y^D$ であり、かつ、Aは $CR^a X^D$ であり；それ以外のA、Y、Z、X、Q及びPによって構成される基は、 $CR^a_2$ であり、O - O、O - S及びS - Sから構成される群から選択された隣接原子ペアは存在せず； $X^D$ は $(O - C(O))_p - (L^D)_n - (D^D)$ 、 $S - C(O) - (L^D)_n - (D^D)$ 、 $O - C(S) - (L^D)_n - (D^D)$ 、 $S - C(S) - (L^D)_n - (D^D)$ 、 $NR^c - C(O) - (L^D)_n - (D^D)$ 、 $NR^c - C(S) - (L^D)_n - (D^D)$ 、 $C(O) - (L^D)_n - (D^D)$ 、 $C(S) - (L^D)_n - (D^D)$ であり； $Y^D$ は $NH$ であり；pは0又は1である；

(6) Yは $Y^D$ であり、かつ、P又はQは $X^D$ である、又は、Qは $Y^D$ であり、かつ、A又はYは $X^D$ であり；それ以外のA、Y、Z、X、Q及びPによって構成される基は、 $CR^a_2$ であり、O - O、O - S、及びS - Sから構成される群から選択された隣接原子ペアは存在せず； $X^D$ は $N - C(O) - (L^D)_n - (D^D)$ 、 $N - C(S) - (L^D)_n - (D^D)$ であり； $Y^D$ は $NH$ であり；

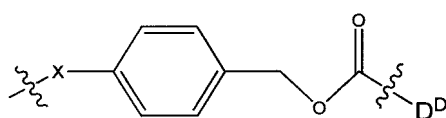
ここで、各々の $R^a$ は、Hであり；

各々の $R^c$ は、Hであり；

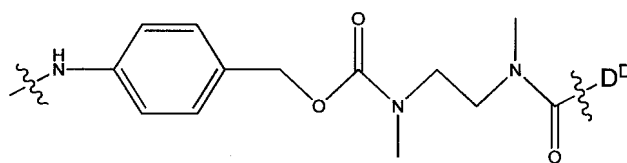
及び $(L^D)_n$ は、S、N、NH又はOを介して $T^R$ に結合された、 $n = 0$ 又は1を有するリンカーであり、ここで、これらS、N、NH又はO原子はリンカーの一部であり、直鎖状に及び/又は分枝状に配置された複数のユニットを構成しても良く； $D^D$ は、S、N、NH又はOを介して結合された1つ以上の薬物であり、ここでこれらS、N、NH又はO原子は、治療的部分の一部であり；

$L^D$ は、

【化7】

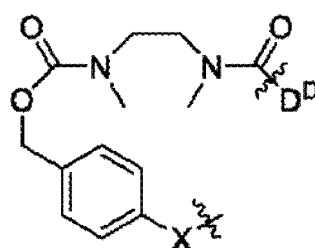
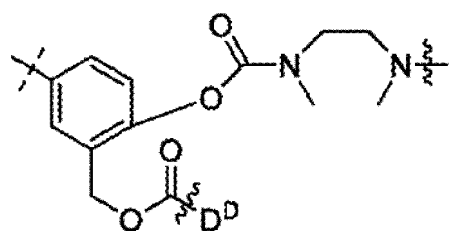
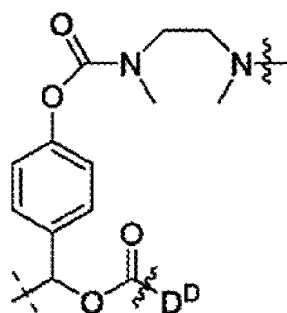
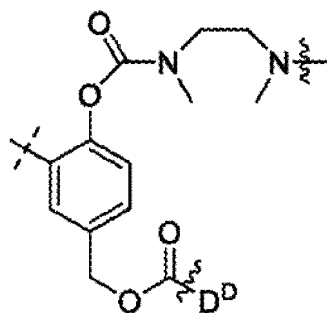


X = O or S or NH or NR with R = alkyl or aryl

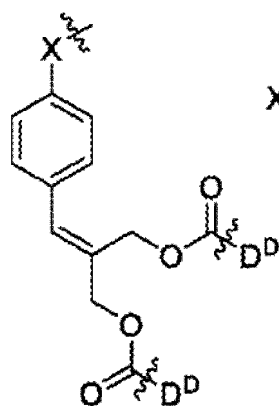
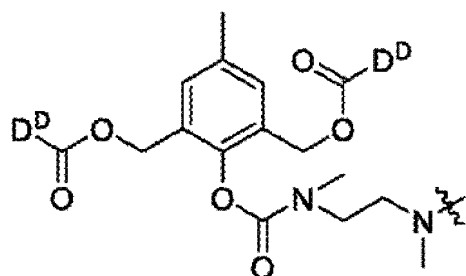


(式中、XはO又はS又はNH又はNRであり、ここでRはアルキル又はアリールである)

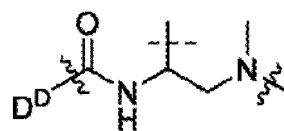
【化 8 0】



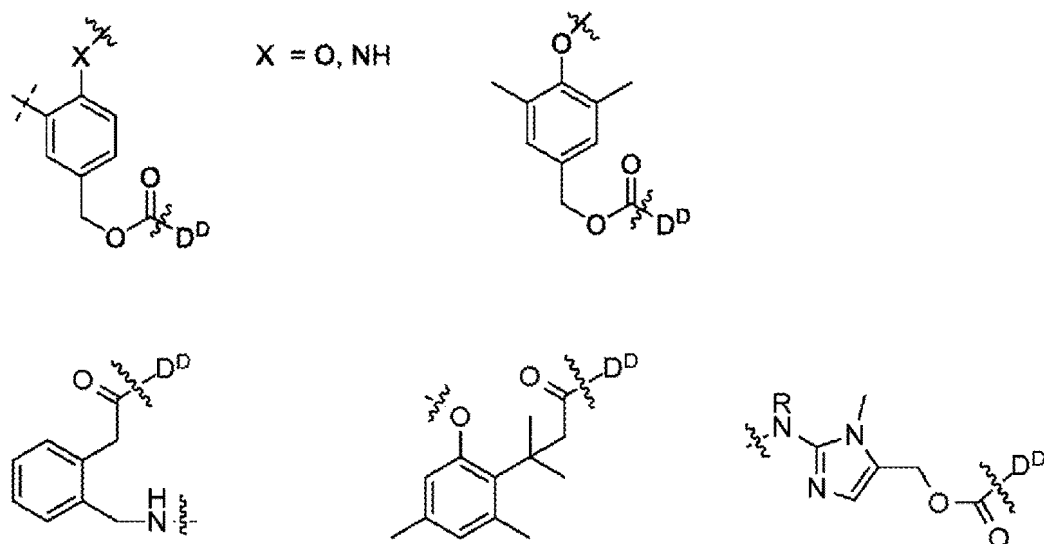
X = O, S, NH



X = O, S, NH



## 【化 8 1】



(式中、波線は結合されたトリガー又は $D^D$ であり、

破線は、結合された $T^T$ 又は $S^P - T^T$ 又は $M^M$ 又は $S^P - M^M$ である)

から選択され、

式中、スペーサー $S^P$ は、アルキル、ポリエチレングリコール、ペプチド、又はポリラクチドであり、

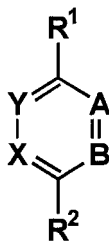
標的化試薬 $T^T$ は、抗体、抗体断片、タンパク質、又はペプチドであり、

マスキング部分 $M^M$ は、タンパク質、ペプチド、ポリマー、ポリエチレングリコール、又は炭水化物であり；

式中、前記薬物 $D^D$ は、抗体、抗体誘導体、抗体断片F a b 2、抗体断片F a b、抗体断片s c F V、二重特異性抗体、三重特異性抗体、抗体断片融合体、二重特異性m A b断片、三重特異性m A b断片、タンパク質、アプタマー、オリゴペプチド、オリゴヌクレオチド、オリゴ糖、ペプチド、ペプチド、ステロイド、有機薬物化合物、トキシシン、ホルモン、ウイルス、ファージ、リシンAの免疫トキシシン、ジフテリアトキシシン、コレラトキシシン、アウリスチン、メイタンシン、カリケアマイシン、デュオカルマイシン、メイタンシノイドD M 1及びD M 4、アウリスチンM M A E、C C 1 0 6 5、カンプトテシン、S N - 3 8、抗増殖/抗腫瘍薬、抗生物質、サイトカイン、抗炎症性薬、抗ウイルス剤、降圧剤、化学増感剤及び放射線増感剤、ジヒドロ葉酸レダクターゼインヒビター、及びチミジル酸シンターゼインヒビター、DNAアルキル化剤、放射線増感剤、DNAインターカレーター、DNA開裂剤、抗チューブリン剤、トポイソメラーゼインヒビター、白金系薬物、アントラサイクリン、ビンカ薬物、ブレオマイシン、細胞毒性ヌクレオシド、タキサン、レキシトロボシン、プテリジン、ジネン、ポドフィロトキシシン、ドラスタチン、メイタンシノイド、分化誘導剤、タキソール、メトトレキサート、メトプテリン、ジクロロメトトレキサート、5 - フルオロウラシル、DNAマイナーグループバインダー、6 - メルカプトプリン、シトシンアラビノシド、メルファラン、ロイロシン(leurosine)、ロイロシジン(leurosideine)、アクチノマイシン、ダウノルビシン、ドキソルビシン、マイトマイシンC、マイトマイシンA、カミノマイシン、アミノプテリン、タリソマイシン、エトポシド、エトポシドフォスフェート、ビンブラスチン、ビンクリスチン、ビンデシン、タキソテル、レチノイン酸、酪酸、N 8 - アセチルスペルミジン、カンプトテシン、エスプラミシン、エンジニン、マイトマイシン、アントラサイクリン、1 - (2 - クロロエチル) 1, 2 - ジメタンスルフォニルヒドラジド、シタラビン、アングイジン、及び6 - メルカプトプリンの群から選択される)；

前記アクチベータ化合物は、式(4)に記載のテトラジンを含む；

【化 7 4】



(4)

(式(4)中、 $R^1$  及び  $R^2$  は、各々独立して、H、アルキル、アリール、 $CF_3$ 、 $CF_2-R'$ 、NO、 $NO_2$ 、 $OR'$ 、 $SR'$ 、CN、 $C(=O)R'$ 、 $C(=S)R'$ 、 $OC(=O)R''$ 、 $SC(=O)R''$ 、 $OC(=S)R''$ 、 $SC(=S)R''$ 、 $S(=O)R'$ 、 $S(=O)_2R''$ 、 $S(=O)_2OR'$ 、 $PO_3R'R'$ 、 $S(=O)_2NR'R''$ 、 $C(=O)O-R'$ 、 $C(=O)S-R'$ 、 $C(=S)O-R'$ 、 $C(=S)S-R'$ 、 $C(=O)NR'R''$ 、 $C(=S)NR'R''$ 、 $NR'R''$ 、 $NR'C(=O)R''$ 、 $NR'C(=S)R''$ 、 $NR'C(=O)OR'$ 、 $NR'C(=S)OR'$ 、 $NR'C(=O)SR'$ 、 $NR'C(=S)SR'$ 、 $OC(=O)NR'R''$ 、 $SC(=O)NR'R''$ 、 $OC(=S)NR'R''$ 、 $SC(=S)NR'R''$ 、 $NR'C(=O)NR'R''$ 、 $NR'C(=S)NR'R''$  から構成される群から選択され、ここで、各々の  $R'$  及び各々の  $R''$  は、独立して、H、アリール又はアルキルであり、 $R''$  は、独立して、アリール又はアルキルであり；

A は N であり；

B は N であり；

X は、N であり；

Y は、N である；)

プロドラッグキット。

【請求項 2】

A、P、Q、X、Y、及び Z は、結合 PQ、QP、QX、XQ、XZ、ZX、ZY、YZ、YA、AY の 1 つが  $-CR^aX^D-CR^aY^D-$  から構成されるように選択され、それ以外の A、Y、Z、X、Q、P によって構成される基は、 $CR^a_2$  であり、 $O-O$ 、 $O-S$  及び  $S-S$  から構成される群から選択された隣接原子ペアは存在せず； $X^D$  は  $O-C(O)-(L^D)_n-(D^D)$ 、 $S-C(O)-(L^D)_n-(D^D)$ 、 $O-C(S)-(L^D)_n-(D^D)$ 、 $S-C(S)-(L^D)_n-(D^D)$ 、 $NR^c-C(O)-(L^D)_n-(D^D)$ 、 $NR^c-C(S)-(L^D)_n-(D^D)$  であり；かつ  $Y^D$  は  $NHR^c$ 、OH、SH である；又は  $X^D$  が  $C(O)-(L^D)_n-(D^D)$ 、 $C(S)-(L^D)_n-(D^D)$  であり；かつ  $Y^D$  が  $CR^c_2NHR^c$ 、 $CR^c_2OH$ 、 $CR^c_2SH$ 、 $NH-NH_2$ 、 $O-NH_2$  又は  $NH-OH$  である、

請求項 1 に記載のプロドラッグキット。

【請求項 3】

PQ、QP、AY 又は YA が、 $-CR^aX^D-CR^aY^D-$  であり、 $X^D$  及び  $Y^D$  が互いに関連してトランスに位置する、

請求項 2 に記載のプロドラッグキット。

【請求項 4】

ZX 又は XZ が  $-CR^aX^D-CR^aY^D-$  であり、 $X^D$  及び  $Y^D$  が互いに関連してシスに位置する、

請求項 2 に記載のプロドラッグキット。

【請求項 5】

$X^D$  が  $NR^c-C(O)-(L^D)_n-(D^D)$  であり、 $Y^D$  が  $NHR^c$  である、

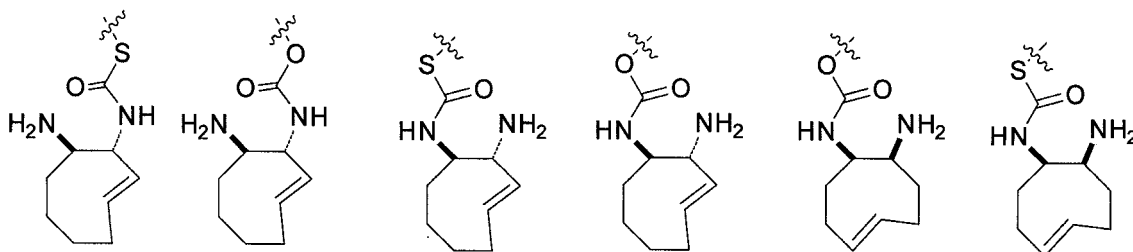
請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載のプロドラッグキット。

【請求項 6】

前記ジエノフィルが、次構造から選択される化合物である、

請求項 5 に記載のプロドラッグキット。

【化 7 1】

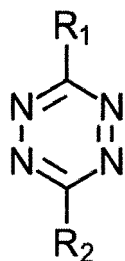


(ただし、波線は、結合された  $D^D$ 、 $L^D$  -  $D^D$  の残りであり、場合により、 $T^T$  又は  $S^P$  -  $T^T$  又は  $M^M$  又は  $S^P$  -  $M^M$  を含む。)

【請求項 7】

前記ジエンは、式 (7) を満たし、 $R_1$  及び  $R_2$  でパラ置換されたテトラジンである、  
請求項 1 に記載のプロドラッグキット。

【化 7 5】



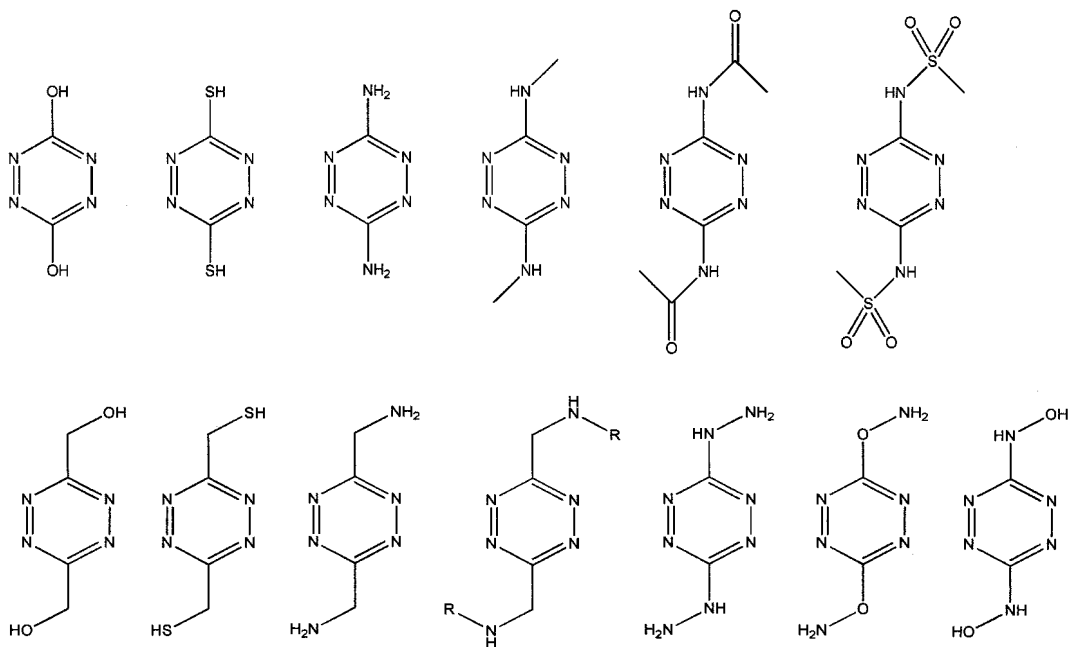
(7)

(ただし式中、 $R_1$  及び  $R_2$  は、各々独立して、H、アルキル、 $NO_2$ 、 $CF_3$ 、 $CN$ 、 $COOR$ 、 $CONHR$ 、 $CONR_2$ 、 $COR$ 、 $SO_2R$ 、 $SO_2OR$ 、 $SO_2NR_2$ 、 $PO_3R_2$ 、 $NO$ 、2 - ピリジル、3 - ピリジル、4 - ピリジル、2, 6 - ピリミジル、3, 5 - ピリミジル、2, 4 - ピリミジル、2, 4 - イミダジル、2, 5 - イミダジル及びフェニルから構成される群から選択される置換基であり、前記置換基は、 $NO_2$ 、F、Cl、 $CF_3$ 、 $CN$ 、 $COOR$ 、 $CONHR$ 、 $CONR$ 、 $COR$ 、 $SO_2R$ 、 $SO_2OR$ 、 $SO_2NR_2$ 、 $PO_3R_2$ 、 $NO$  及び Ar から構成される群から選択される 1 つ以上の電子求引性基で置換されてもよく、ここで、R は H 又は  $C_1$  -  $C_6$  アルキルであり、Ar はフェニル、ピリジル又はナフチルである)。

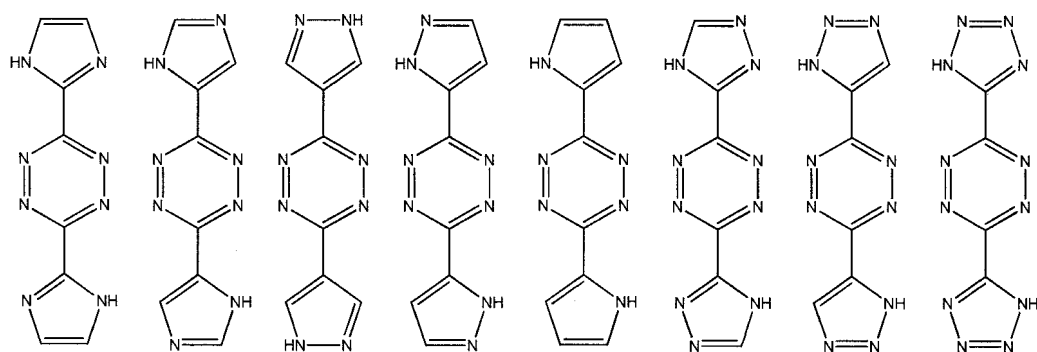
【請求項 8】

前記ジエンは、

【化 7 6】

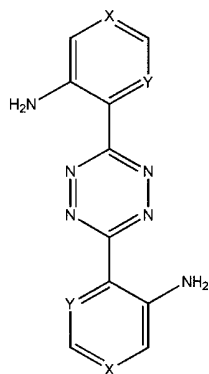


both R = methyl, or  
both R = ethyl, or  
both R = phenyl

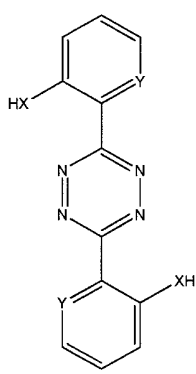




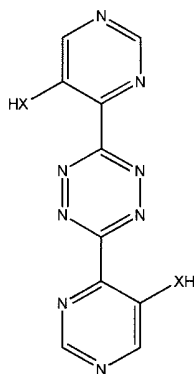
## 【化 7 7】



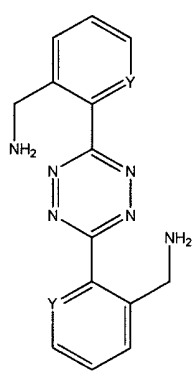
both Y = C and both X = C, or  
both Y = C and both X = N, or  
both Y = N and both X = C, or  
both Y = N and both X = N



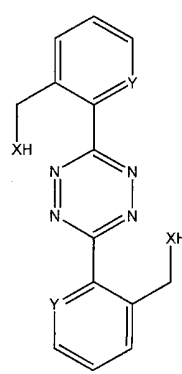
both X = O and both Y = C, or  
both X = O and both Y = N, or  
both X = S and both Y = C, or  
both X = S and both Y = N



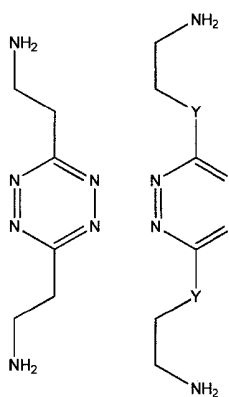
both X = O, or  
both X = S



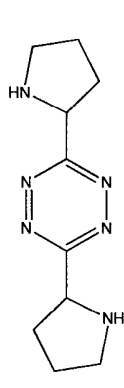
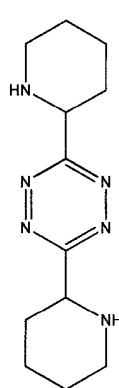
both Y = C, or  
both Y = N



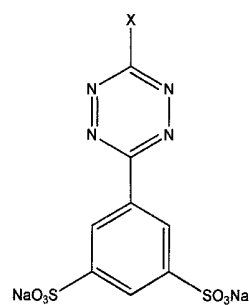
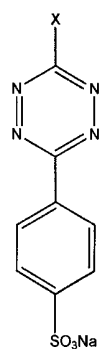
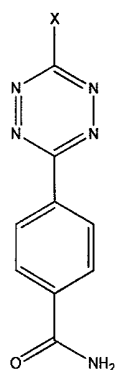
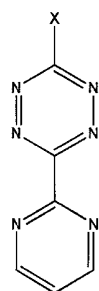
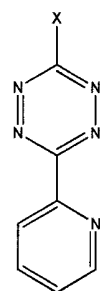
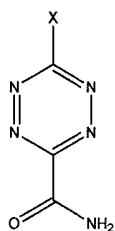
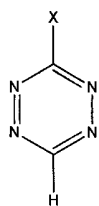
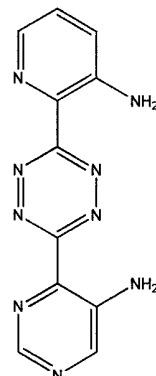
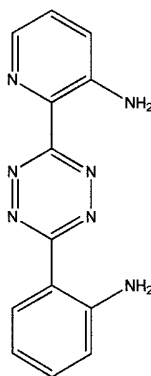
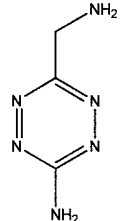
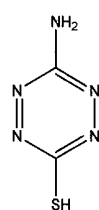
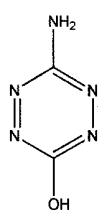
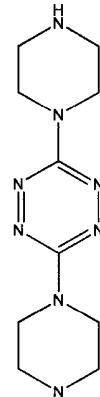
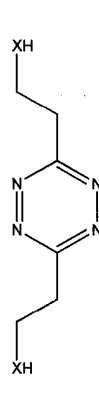
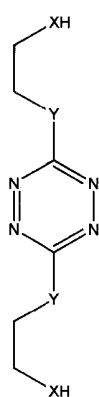
both X = O and both Y = C, or  
both X = O and both Y = N, or  
both X = S and both Y = C, or  
both X = S and both Y = N



both Y = O, or  
both Y = S

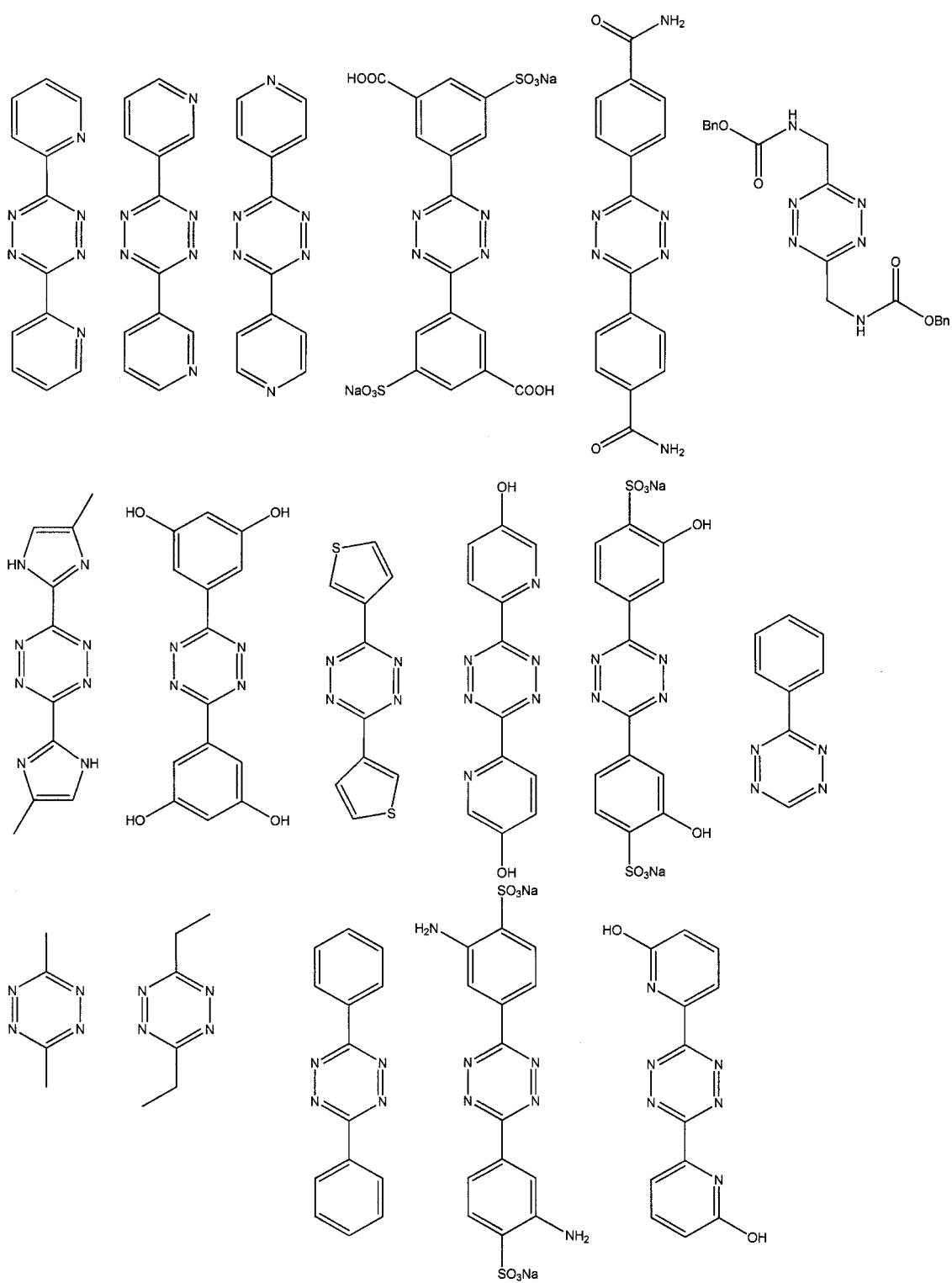


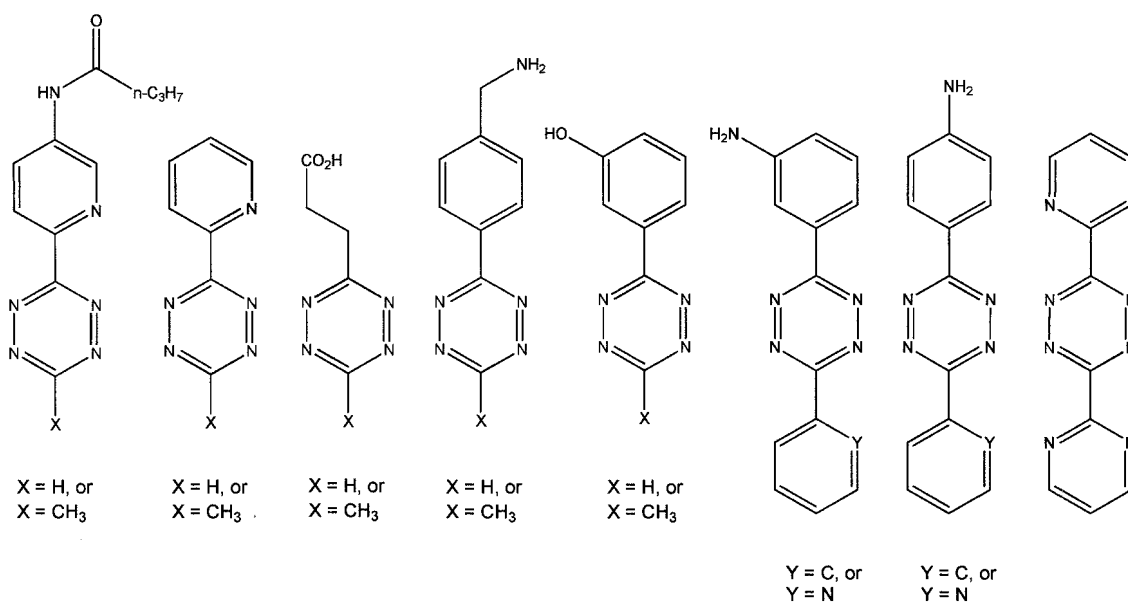
both X = O and both Y = O, or  
both X = O and both Y = S, or  
both X = S and both Y = O, or  
both X = S and both Y = S



For all structures:

X = NH<sub>2</sub>, or X = OH, or X = SH, or  
X = CH<sub>2</sub>NH<sub>2</sub>, or X = 2,5-imidazolyl, or  
X = 2-aminophenyl, or X = (CH<sub>2</sub>)<sub>7</sub>-NH<sub>2</sub>



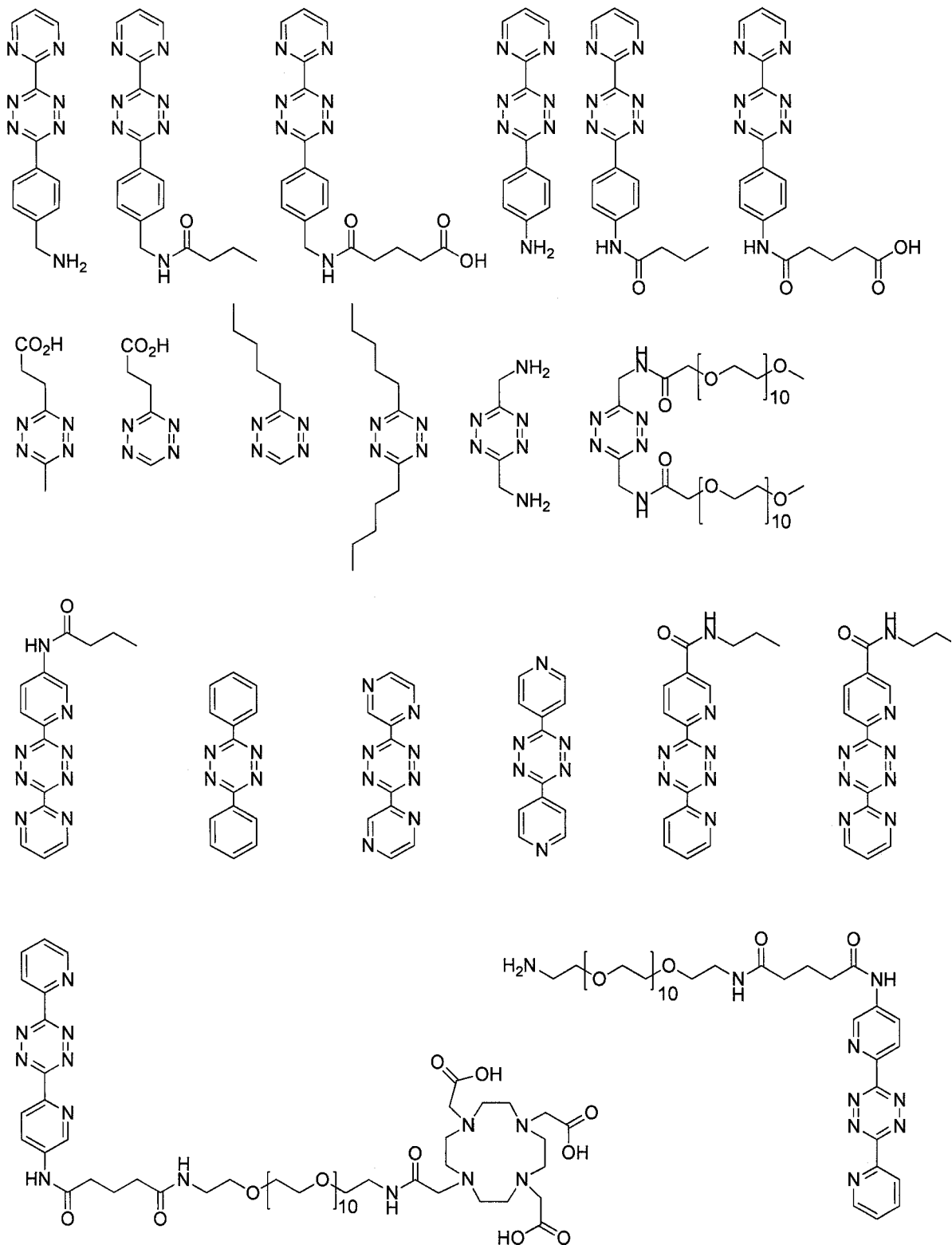


から構成される群から選択される、  
請求項 1 に記載のプロドラッグキット。

【請求項 9】

前記ジエンは、

Chemical structures of various pyridine and triazine derivatives, including substituted pyridines, triazines, and their derivatives with various functional groups like amino, hydroxyl, and carboxylic acid.



から構成される群から選択される、  
請求項 1 に記載のプロドラッグキット。

【請求項 10】

前記薬物  $D^D$  又は前記リンカー  $L^D$  の少なくとも 1 つは、抗体である標的化試薬  $T^T$  を含む、

請求項 1 乃至 9 のいずれか一項に記載のプロドラッグキット。

【請求項 11】

前記薬物  $D^D$  又は前記リンカー  $L^D$  の少なくとも 1 つは、ペプチドであるマスキング部分  $M^M$  を含む、

請求項 1 乃至 9 のいずれか一項に記載のプロドラッグキット。

【請求項 1 2】

前記薬物は、T - 細胞系合抗体構成物である、

請求項 1 乃至 1 1 のいずれか一項に記載のプロドラッグキット。

【請求項 1 3】

前記プロドラッグ化合物は、抗体 - トキシン又は抗体 - 薬物共役物を含む、

請求項 1 乃至 1 0 のいずれか一項に記載のプロドラッグキット。

【請求項 1 4】

薬物を提供するステップと、

体外でジエノフィル部分に前記薬物を化学的に結合させるステップと、

を含む、請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載の式 ( 1 a ) のプロドラッグ化合物を形成する方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

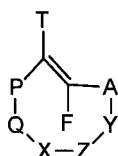
【訂正対象項目名】0 0 1 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 3】

【化 1】



(1a)

(ただし、T、Fは、各々独立して、H又はアルキル、F、Cl、Br又はIから構成される群から選択される置換基を意味し；記号A、P、Q、X、Y及びZの意味は、下記実施形態(1)～(6)から構成される群から選択され、

(1) 結合PQ、QP、QX、XQ、XZ、ZX、ZY、YZ、YA、AYの1つは、 $-CR^aX^D$ 、 $-CR^aY^D$ から構成され、それ以外のA、Y、Z、X、Q、Pによって構成される基は、各々独立して、 $CR^a_2$ 、S、O、 $SiR^b_2$ であり、P及びAは $CR^a_2$ であり、O-O、O-S及びS-Sから構成される群から選択された隣接原子ペアは存在せず、Siがもし存在する場合には、Siは $CR^a_2$ 又はOに隣接し； $X^D$ はO-C(O)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)、S-C(O)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)、O-C(S)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)、S-C(S)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)、NR<sup>c</sup>-C(O)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)、NR<sup>c</sup>-C(S)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)であり；かつY<sup>D</sup>はNHR<sup>c</sup>、OH、SHであり；又は $X^D$ はC(O)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)、C(S)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)であり；かつY<sup>D</sup>は $CR^c_2$ NHR<sup>c</sup>、 $CR^c_2$ OH、 $CR^c_2$ SH、NH-NH<sub>2</sub>、O-NH<sub>2</sub>又はNH-OHである；

(2) Aは $CR^aX^D$ でありかつZは $CR^aY^D$ である、又はZは $CR^aX^D$ でありかつAは $CR^aY^D$ である、又は、Pは $CR^aX^D$ でありかつXは $CR^aY^D$ である、又はXは $CR^aX^D$ でありかつPは $CR^aY^D$ であり、 $X^D$ 及びY<sup>D</sup>は互いに関連してトランス型に配置され；それ以外のA、Y、Z、X、Q、及びPによって構成される基は、互いに独立して、 $CR^a_2$ 、S、O、 $SiR^b_2$ であり、P及びAは $CR^a_2$ であり、O-O、O-S及びS-Sから構成される群から選択された隣接原子ペアは存在せず、Siがもし存在する場合には、Siは $CR^a_2$ 又はOに隣接し； $X^D$ は、O-C(O)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)、S-C(O)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)、O-C(S)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)、S-C(S)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)、NR<sup>c</sup>-C(O)-(L<sup>D</sup>)<sub>n</sub>-(D<sup>D</sup>)

、 $\text{NR}^c - \text{C}(\text{S}) - (\text{L}^D)_n - (\text{D}^D)$ であり、かつ $\text{Y}^D$ は $\text{NHR}^c$ 、 $\text{OH}$ 、 $\text{SH}$ 、 $\text{CR}^c_2 \text{NHR}^c$ 、 $\text{CR}^c_2 \text{OH}$ 、 $\text{CR}^c_2 \text{SH}$ 、 $\text{NH} - \text{NH}_2$ 、 $\text{O} - \text{NH}_2$ 又は $\text{NH} - \text{OH}$ である；又は $\text{X}^D$ は $\text{CR}^c_2 - \text{O} - \text{C}(\text{O}) - (\text{L}^D)_n - (\text{D}^D)$ 、 $\text{CR}^c_2 - \text{S} - \text{C}(\text{O}) - (\text{L}^D)_n - (\text{D}^D)$ 、 $\text{CR}^c_2 - \text{O} - \text{C}(\text{S}) - (\text{L}^D)_n - (\text{D}^D)$ 、 $\text{CR}^c_2 - \text{S} - \text{C}(\text{S}) - (\text{L}^D)_n - (\text{D}^D)$ 、 $\text{CR}^c_2 - \text{NR}^c - \text{C}(\text{O}) - (\text{L}^D)_n - (\text{D}^D)$ 、 $\text{CR}^c_2 - \text{NR}^c - \text{C}(\text{S}) - (\text{L}^D)_n - (\text{D}^D)$ であり、かつ $\text{Y}^D$ は $\text{NHR}^c$ 、 $\text{OH}$ 、 $\text{SH}$ である；又は $\text{X}^D$ は $\text{C}(\text{O}) - (\text{L}^D)_n - (\text{D}^D)$ 、 $\text{C}(\text{S}) - (\text{L}^D)_n - (\text{D}^D)$ であり；かつ $\text{Y}^D$ は $\text{CR}^c_2 \text{NHR}^c$ 、 $\text{CR}^c_2 \text{OH}$ 、 $\text{CR}^c_2 \text{SH}$ 、 $\text{NH} - \text{NH}_2$ 、 $\text{O} - \text{NH}_2$ 、 $\text{NH} - \text{OH}$ である；

(3)  $\text{A}$ は $\text{CR}^a \text{Y}^D$ であり、かつ、 $\text{P}$ 、 $\text{Q}$ 、 $\text{X}$ 、 $\text{Z}$ の1つは $\text{CR}^a \text{X}^D$ であり、又は、 $\text{P}$ は $\text{CR}^a \text{Y}^D$ であり、かつ、 $\text{A}$ 、 $\text{Y}$ 、 $\text{Z}$ 、 $\text{X}$ の1つは $\text{CR}^a \text{X}^D$ である、又は $\text{Y}$ は $\text{CR}^a \text{Y}^D$ であり、かつ $\text{X}$ 又は $\text{P}$ は $\text{CR}^a \text{X}^D$ である、又は、 $\text{Q}$ は $\text{CR}^a \text{Y}^D$ であり、かつ、 $\text{Z}$ 又は $\text{A}$ は $\text{CR}^a \text{X}^D$ である、又は、 $\text{Z}$ 又は $\text{X}$ のいずれかは $\text{CR}^a \text{Y}^D$ であり、かつ、 $\text{A}$ 又は $\text{P}$ は $\text{CR}^a \text{X}^D$ であり、 $\text{X}^D$ 及び $\text{Y}^D$ は互いに関連してトランス型に配置され；それ以外の $\text{A}$ 、 $\text{Y}$ 、 $\text{Z}$ 、 $\text{X}$ 、 $\text{Q}$ 及び $\text{P}$ によって構成される基は、各々独立して、 $\text{CR}^a_2$ 、 $\text{S}$ 、 $\text{O}$ 、 $\text{SiR}^b_2$ であり、 $\text{P}$ 及び $\text{A}$ は $\text{CR}^a_2$ であり、 $\text{O} - \text{O}$ 、 $\text{O} - \text{S}$ 及び $\text{S} - \text{S}$ を構成する群から選択された隣接原子ペアは存在せず、 $\text{Si}$ がもし存在する場合には、 $\text{Si}$ は $\text{CR}^a_2$ 又は $\text{O}$ に隣接し； $\text{X}^D$ は $(\text{O} - \text{C}(\text{O}))_p - (\text{L}^D)_n - (\text{D}^D)$ 、 $\text{S} - \text{C}(\text{O}) - (\text{L}^D)_n - (\text{D}^D)$ 、 $\text{O} - \text{C}(\text{S}) - (\text{L}^D)_n - (\text{D}^D)$ 、 $\text{S} - \text{C}(\text{S}) - (\text{L}^D)_n - (\text{D}^D)$ であり、 $\text{Y}^D$ は $\text{CR}^c_2 \text{NHR}^c$ 、 $\text{CR}^c_2 \text{OH}$ 、 $\text{CR}^c_2 \text{SH}$ 、 $\text{NH} - \text{NH}_2$ 、 $\text{O} - \text{NH}_2$ 、 $\text{NH} - \text{OH}$ であり； $p$ は0又は1である；

(4)  $\text{P}$ は $\text{CR}^a \text{Y}^D$ であり、かつ、 $\text{Y}$ は $\text{CR}^a \text{X}^D$ である、又は $\text{A}$ は $\text{CR}^a \text{Y}^D$ であり、かつ、 $\text{Q}$ は $\text{CR}^a \text{X}^D$ である、又は $\text{Q}$ は $\text{CR}^a \text{Y}^D$ であり、かつ、 $\text{A}$ は $\text{CR}^a \text{X}^D$ である、又は $\text{Y}$ は $\text{CR}^a \text{Y}^D$ であり、かつ $\text{P}$ は $\text{CR}^a \text{X}^D$ であり、 $\text{X}^D$ 及び $\text{Y}^D$ は、互いに関連してトランス型に配置され；それ以外の $\text{A}$ 、 $\text{Y}$ 、 $\text{Z}$ 、 $\text{X}$ 、 $\text{Q}$ 及び $\text{P}$ から構成される基は、互いに独立して、 $\text{CR}^a_2$ 、 $\text{S}$ 、 $\text{O}$ 、 $\text{SiR}^b_2$ であり、 $\text{P}$ 及び $\text{A}$ は $\text{CR}^a_2$ であり、 $\text{O} - \text{O}$ 、 $\text{O} - \text{S}$ 及び $\text{S} - \text{S}$ から構成される群から選択された隣接原子ペアは存在せず、 $\text{Si}$ がもし存在する場合には、 $\text{Si}$ は $\text{CR}^a_2$ 又は $\text{O}$ に隣接し； $\text{X}^D$ は $(\text{O} - \text{C}(\text{O}))_p - (\text{L}^D)_n - (\text{D}^D)$ 、 $\text{S} - \text{C}(\text{O}) - (\text{L}^D)_n - (\text{D}^D)$ 、 $\text{O} - \text{C}(\text{S}) - (\text{L}^D)_n - (\text{D}^D)$ 、 $\text{S} - \text{C}(\text{S}) - (\text{L}^D)_n - (\text{D}^D)$ であり； $\text{Y}^D$ は $\text{NHR}^c$ 、 $\text{OH}$ 、 $\text{SH}$ であり； $p$ は0又は1である；

(5)  $\text{Y}$ は $\text{Y}^D$ であり、かつ、 $\text{P}$ は $\text{CR}^a \text{X}^D$ である、又は $\text{Q}$ は $\text{Y}^D$ であり、かつ、 $\text{A}$ は $\text{CR}^a \text{X}^D$ であり；それ以外の $\text{A}$ 、 $\text{Y}$ 、 $\text{Z}$ 、 $\text{X}$ 、 $\text{Q}$ 及び $\text{P}$ によって構成される基は、各々独立して、 $\text{CR}^a_2$ 、 $\text{S}$ 、 $\text{O}$ 、 $\text{SiR}^b_2$ であり、 $\text{P}$ 及び $\text{A}$ は $\text{CR}^a_2$ であり、 $\text{O} - \text{O}$ 、 $\text{O} - \text{S}$ 及び $\text{S} - \text{S}$ から構成される群から選択された隣接原子ペアは存在せず、 $\text{Si}$ がもし存在する場合には、 $\text{Si}$ は $\text{CR}^a_2$ 又は $\text{O}$ に隣接し； $\text{X}^D$ は $(\text{O} - \text{C}(\text{O}))_p - (\text{L}^D)_n - (\text{D}^D)$ 、 $\text{S} - \text{C}(\text{O}) - (\text{L}^D)_n - (\text{D}^D)$ 、 $\text{O} - \text{C}(\text{S}) - (\text{L}^D)_n - (\text{D}^D)$ 、 $\text{S} - \text{C}(\text{S}) - (\text{L}^D)_n - (\text{D}^D)$ 、 $\text{NR}^c - \text{C}(\text{O}) - (\text{L}^D)_n - (\text{D}^D)$ 、 $\text{NR}^c - \text{C}(\text{S}) - (\text{L}^D)_n - (\text{D}^D)$ 、 $\text{C}(\text{O}) - (\text{L}^D)_n - (\text{D}^D)$ 、 $\text{C}(\text{S}) - (\text{L}^D)_n - (\text{D}^D)$ であり； $\text{Y}^D$ は $\text{NH}$ であり； $p$ は0又は1である；

(6)  $\text{Y}$ は $\text{Y}^D$ であり、かつ、 $\text{P}$ 又は $\text{Q}$ は $\text{X}^D$ である、又は、 $\text{Q}$ は $\text{Y}^D$ であり、かつ、 $\text{A}$ 又は $\text{Y}$ は $\text{X}^D$ であり；それ以外の $\text{A}$ 、 $\text{Y}$ 、 $\text{Z}$ 、 $\text{X}$ 、 $\text{Q}$ 及び $\text{P}$ によって構成される基は、各々独立して、 $\text{CR}^a_2$ 、 $\text{S}$ 、 $\text{O}$ 、 $\text{SiR}^b_2$ であり、 $\text{P}$ 及び $\text{A}$ は $\text{CR}^a_2$ であり、 $\text{O} - \text{O}$ 、 $\text{O} - \text{S}$ 、及び $\text{S} - \text{S}$ から構成される群から選択された隣接原子ペアは存在せず、 $\text{Si}$ がもし存在する場合には、 $\text{Si}$ は $\text{CR}^a_2$ 又は $\text{O}$ に隣接し； $\text{X}^D$ は $\text{N} - \text{C}(\text{O}) - (\text{L}^D)_n - (\text{D}^D)$ 、 $\text{N} - \text{C}(\text{S}) - (\text{L}^D)_n - (\text{D}^D)$ であり； $\text{Y}^D$ は $\text{NH}$ であり；

ここで、各々の $\text{R}^a$ は、独立して、 $\text{H}$ 、アルキル、アリール、 $\text{OR}'$ 、 $\text{SR}'$ 、 $\text{S}(=\text{O})\text{R}'$ 、 $\text{S}(=\text{O})_2\text{R}'$ 、 $\text{S}(=\text{O})_2\text{NR}'\text{R}'$ 、 $\text{Si} - \text{R}'$ 、 $\text{Si} - \text{O} - \text{R}'$ 、 $\text{OC}(=\text{O})\text{R}'$ 、 $\text{SC}(=\text{O})\text{R}'$ 、 $\text{OC}(=\text{S})\text{R}'$ 、 $\text{SC}(=\text{S})\text{R}'$ 、 $\text{F}$ 、 $\text{Cl}$ 、 $\text{Br}$ 、 $\text{I}$ 、 $\text{N}_3$ 、 $\text{SO}_2\text{H}$ 、 $\text{SO}_3\text{H}$ 、 $\text{SO}_4\text{H}$

、 $\text{PO}_3\text{H}$ 、 $\text{PO}_4\text{H}$ 、 $\text{NO}$ 、 $\text{NO}_2$ 、 $\text{CN}$ 、 $\text{OCN}$ 、 $\text{SCN}$ 、 $\text{NCO}$ 、 $\text{NCS}$ 、 $\text{CF}_3$ 、 $\text{CF}_2 - \text{R}'$ 、 $\text{NR}'\text{R}''$ 、 $\text{C}(=\text{O})\text{R}'$ 、 $\text{C}(=\text{S})\text{R}'$ 、 $\text{C}(=\text{O})\text{O}-\text{R}'$ 、 $\text{C}(=\text{S})\text{O}-\text{R}'$ 、 $\text{C}(=\text{O})\text{S}-\text{R}'$ 、 $\text{C}(=\text{S})\text{S}-\text{R}'$ 、 $\text{C}(=\text{O})\text{NR}'\text{R}''$ 、 $\text{C}(=\text{S})\text{NR}'\text{R}''$ 、 $\text{NR}'\text{C}(=\text{O})-\text{R}'$ 、 $\text{NR}'\text{C}(=\text{S})-\text{R}'$ 、 $\text{NR}'\text{C}(=\text{O})\text{O}-\text{R}'$ 、 $\text{NR}'\text{C}(=\text{S})\text{O}-\text{R}'$ 、 $\text{NR}'\text{C}(=\text{O})\text{S}-\text{R}'$ 、 $\text{NR}'\text{C}(=\text{S})\text{S}-\text{R}'$ 、 $\text{OC}(=\text{O})\text{NR}'-\text{R}'$ 、 $\text{SC}(=\text{O})\text{NR}'-\text{R}'$ 、 $\text{OC}(=\text{S})\text{NR}'-\text{R}'$ 、 $\text{SC}(=\text{S})\text{NR}'-\text{R}'$ 、 $\text{NR}'\text{C}(=\text{O})\text{NR}'-\text{R}'$ 、 $\text{NR}'\text{C}(=\text{S})\text{NR}'-\text{R}'$ 、 $\text{CR}'\text{NR}'$ から構成される群から選択され、各々の $\text{R}'$ 及び各々の $\text{R}''$ は、独立して、 $\text{H}$ 、アリーール又はアルキルであり、 $\text{R}'$ は、独立して、アリーール又はアルキルであり；各々の $\text{R}^b$ は、独立して、 $\text{H}$ 、アルキル、アリーール、 $\text{O}$ -アルキル、 $\text{O}$ -アリーール、 $\text{OH}$ から構成される群から選択され；各々の $\text{R}^c$ は、独立して、 $\text{H}$ 、 $\text{C}_{1-6}$ アルキル及び $\text{C}_{1-6}$ アリーールから選択され；

2つ以上の $\text{R}^a$ 、 $\text{R}^b$ 、 $\text{R}^c$ 部分は、結合して環を形成しても良く；

及び $(\text{L}^D)_n$ は、好ましくは $\text{S}$ 、 $\text{N}$ 、 $\text{NH}$ 又は $\text{O}$ を介して $\text{T}^R$ に結合された、 $n=0$ 又は1を有する任意のリンカーであり、ここで、これら $\text{S}$ 、 $\text{N}$ 、 $\text{NH}$ 又は $\text{O}$ 原子はリンカーの一部であり、直鎖状に及び/又は分枝状に配置された複数のユニットを構成しても良く； $\text{D}^D$ は、好ましくは $\text{S}$ 、 $\text{N}$ 、 $\text{NH}$ 又は $\text{O}$ を介して結合された1つ以上の治療的部分又は薬物であり、ここでこれら $\text{S}$ 、 $\text{N}$ 、 $\text{NH}$ 又は $\text{O}$ 原子は、前記治療的部分の一部である）を供する。

#### 【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0056

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0056】

実施形態1において、結合 $\text{PQ}$ 、 $\text{QP}$ 、 $\text{QX}$ 、 $\text{XQ}$ 、 $\text{XZ}$ 、 $\text{ZX}$ 、 $\text{ZY}$ 、 $\text{YZ}$ 、 $\text{YA}$ 、 $\text{AY}$ の1つは、 $-\text{CR}^a\text{X}^D-\text{CR}^a\text{Y}^D-$ から構成され、それ以外の基( $\text{A}$ 、 $\text{Y}$ 、 $\text{Z}$ 、 $\text{X}$ 、 $\text{Q}$ 、 $\text{P}$ からの)は、各々独立して、 $\text{CR}^a_2$ 、 $\text{S}$ 、 $\text{O}$ 、 $\text{SiR}^b_2$ であり、 $\text{P}$ 及び $\text{A}$ は、 $\text{CR}^a_2$ であり、 $\text{O}-\text{O}$ 、 $\text{O}-\text{S}$ からなる群から選択された隣接原子ペアは存在せず、 $\text{Si}$ がもし存在する場合には、 $\text{Si}$ は、 $\text{CR}^a_2$ 又は $\text{O}$ に隣接する。

#### 【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0060

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0060】

実施形態2において、 $\text{A}$ は $\text{CR}^a\text{X}^D$ であり、 $\text{Z}$ は $\text{CR}^a\text{Y}^D$ である、又は、 $\text{Z}$ は $\text{CR}^a\text{X}^D$ であり、 $\text{A}$ は $\text{CR}^a\text{Y}^D$ である、又は、 $\text{P}$ は $\text{CR}^a\text{X}^D$ であり、 $\text{X}$ は $\text{CR}^a\text{Y}^D$ である、又は $\text{X}$ は $\text{CR}^a\text{X}^D$ であり、 $\text{P}$ は $\text{CR}^a\text{Y}^D$ である、そして、 $\text{X}^D$ 及び $\text{Y}^D$ は、互いに関連してトランス型(trans conformation)に配置され、それ以外の基( $\text{A}$ 、 $\text{Y}$ 、 $\text{Z}$ 、 $\text{X}$ 、 $\text{Q}$ 、 $\text{P}$ からの)は、互いに独立して、 $\text{CR}^a_2$ 、 $\text{S}$ 、 $\text{O}$ 、 $\text{SiR}^b_2$ であり、 $\text{P}$ 及び $\text{A}$ は、 $\text{CR}^a_2$ であり、 $\text{O}-\text{O}$ 、 $\text{O}-\text{S}$ 及び $\text{S}-\text{S}$ からなる群から選択された隣接原子ペアは存在せず、 $\text{Si}$ がもし存在する場合には、 $\text{Si}$ は、 $\text{CR}^a_2$ 又は $\text{O}$ に隣接し； $\text{X}^D$ は $\text{O}-\text{C}(\text{O})-(\text{L}^D)_n-(\text{D}^D)$ 、 $\text{S}-\text{C}(\text{O})-(\text{L}^D)_n-(\text{D}^D)$ 、 $\text{O}-\text{C}(\text{S})-(\text{L}^D)_n-(\text{D}^D)$ 、 $\text{S}-\text{C}(\text{S})-(\text{L}^D)_n-(\text{D}^D)$ 、 $\text{NR}^c-\text{C}(\text{O})-(\text{L}^D)_n-(\text{D}^D)$ 、 $\text{NR}^c-\text{C}(\text{S})-(\text{L}^D)_n-(\text{D}^D)$ であり、その場合、 $\text{Y}^D$ は $\text{NHR}^c$ 、 $\text{OH}$ 、 $\text{SH}$ 、 $\text{CR}^c_2\text{NHR}^c$ 、 $\text{CR}^c_2\text{OH}$ 、 $\text{CR}^c_2\text{SH}$ 、 $\text{NH}-\text{NH}_2$ 、 $\text{O}-\text{NH}_2$ 、 $\text{NH}-\text{OH}$ であり、又は、 $\text{X}^D$ は $\text{CR}^c_2-\text{O}-\text{C}(\text{O})-(\text{L}^D)_n-(\text{D}^D)$ 、 $\text{CR}^c_2-\text{S}-\text{C}(\text{O})-(\text{L}^D)_n-(\text{D}^D)$



,  $CR^c_2 - O - C(S) - (L^D)_n - (D^D)$ ,  $CR^c_2 - S - C(S) - (L^D)_n - (D^D)$ ,  $CR^c_2 - NR^c - C(O) - (L^D)_n - (D^D)$ ,  $CR^c_2 - NR^c - C(S) - (L^D)_n - (D^D)$ であり、その場合、 $Y^D$ は $NHR^c$ ,  $OH$ ,  $SH$ であり、又は、 $X^D$ は $C(O) - (L^D)_n - (D^D)$ ,  $C(S) - (L^D)_n - (D^D)$ であり、その場合、 $Y^D$ は $CR^c_2 NHR^c$ ,  $CR^c_2 OH$ ,  $CR^c_2 SH$ ,  $NH - NH_2$ ,  $O - NH_2$ ,  $NH - OH$ である。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0062

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0062】

実施形態3において、Aは $CR^a Y^D$ であり、P, Q, X, Zの1つは $CR^a X^D$ である、又は、Pは $CR^a Y^D$ であり、A, Y, Z, Xの1つは $CR^a X^D$ である、又は、Yは $CR^a Y^D$ であり、X又はPは $CR^a X^D$ である、又は、Qは $CR^a Y^D$ であり、Z又はAは $CR^a X^D$ である、又は、Z又はXのいずれか一方が $CR^a Y^D$ であり、A又はPが $CR^a X^D$ であり、 $X^D$ 及び $Y^D$ は、互いに関連してトランス型で配置され、それ以外の基(A, Y, Z, X, Q, Pからの)は、各々独立して、 $CR^a_2$ , S, O,  $SiR^b_2$ であり、P及びAは、 $CR^a_2$ であり、O - O, O - S及びS - Sからなる群から選択された隣接原子ペアは存在せず、Siがもし存在する場合には、Siは、 $CR^a_2$ 又はOに隣接する。

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0065

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0065】

実施形態4において、Pは $CR^a Y^D$ であり、Yは $CR^a X^D$ である又はAは $CR^a Y^D$ であり、Qは $CR^a X^D$ である、又は、Qは $CR^a Y^D$ であり、Aは $CR^a X^D$ である、又は、Yは $CR^a Y^D$ であり、Pは $CR^a X^D$ である、そして、 $X^D$ 及び $Y^D$ は、互いに関連して、トランス型で配置され、それ以外の基(A, Y, Z, X, Q, Pからの)は、各々独立して、 $CR^a_2$ , S, O,  $SiR^b_2$ であり、P及びAは $CR^a_2$ であり、O - O, O - S及びS - Sからなる群から選択された隣接原子ペアは存在せず、もし存在するならばSiは、 $CR^a_2$ 又はOに隣接する。

【誤訳訂正 7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0068

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0068】

実施形態5において、Yは $Y^D$ であり、Pは $CR^a X^D$ である、又は、Qは $Y^D$ であり、Aは $CR^a X^D$ である、それ以外の基(A, Y, Z, X, Q, Pからの)は、各々独立して、 $CR^a_2$ , S, O,  $SiR^b_2$ であり、P及びAは $CR^a_2$ であり、O - O, O - S及びS - Sからなる群から選択された隣接原子ペアは存在せず、Siがもし存在する場合には、Siは、 $CR^a_2$ 又はOに隣接する。

【誤訳訂正 8】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0071

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

## 【 0 0 7 1 】

実施形態 6 において、Y は  $Y^D$  であり、P 又は Q は  $X^D$  である、又は、Q は  $Y^D$  であり、A 又は Y は  $X^D$  である；それ以外の基 ( A , Y , Z , X , Q , P からの ) は、各々独立して、 $CR^a_2$  , S , O ,  $SiR^b_2$  であり、P 及び A は  $CR^a_2$  であり、O - O , O - S 及び S - S からなる群から選択された隣接原子ペアは存在せず、Si がもし存在する場合には、Si は、 $CR^a_2$  又は O に隣接する。